



障がい者就労支援サービスの「ワークリア」、HR's SDGsアワード 2025最終ピッチに選出

「育つために育てる」を体現、最優秀賞を受賞した障がい者×企業の共成長プログラムを発表



レバレッジズ株式会社が運営する障がい者就労支援サービス「ワークリア」(<https://worklear.jp/>)は、2025年6月27日に開催された「HR's SDGsアワード2025」(主催:有志団体「One HR」)の受賞式に参加し、最優秀賞受賞6社の中からグランプリを選出する最終選考のピッチに登壇したことをお知らせします。

■HR's SDGsアワード2025について

企業と個人の持続的成長を目指すHR事業者・企業人事の有志団体「One HR」が主催し、2024年より開催されています。日本に300万社以上ある企業の中から「個人と企業の成長に貢献する施策や制度」に光を当て、全国の企業へその知恵を共有することを目的としています。

■最優秀賞を受賞した「共成長プログラム」について

2018年に開始したインターンシップは規模を拡大し、昨年度は年間800名以上の、多様な背景(障がい者手帳の有無・リワーク目的不問)を持つインターン生を受け入れました。本プログラムは、このインターンシップ運営を精神・発達障がいのある社員が主体的に担い、「インターン生を育てることを通じて、自らも組織のリーダーへと育つ」ことを目指す、独自の「共成長」モデルです。

■グランプリ選考ピッチでのプレゼンテーション

6月27日に開催された最終選考では、ワークリア事業責任者の津留が登壇。「障がい者社員のキャリアの壁」と「インターン事業の運営の壁」という2つの課題に対し、どのように取り組み、組織としての成長と社員の自律的なキャリア形成の好循環を生み出しているかを発表しました。

会場からは「社員の可能性を信じ抜く姿勢に感動した」「企業の成長と個人の尊厳や働きがいの向上を両立する、画期的なモデル」といった声が寄せられました。



ワークリア (<https://worklear.jp/>)

ワークリアは、世の中の障がい者、障がい者雇用を活性化することを目指して、未経験・就業経験の少ない方を雇用し、育成するサービスです。人材紹介サービスによるキャリア支援を中心に、企業における障がい者雇用のコンサルティング、交流機会の提供を行っております。

レバレッジズ株式会社 (<https://leverages.jp/>)

本店所在地：東京都渋谷区渋谷二丁目24番12号 渋谷スクランブルスクエア24階 /25階

代表取締役：岩槻 知秀

資本金：5,000万円

設立：2005年4月

事業内容：自社メディア事業、人材関連事業、システムエンジニアリング事業、システムコンサルティング事業、M&Aアドバイザー事業、DX事業、メディカル関連事業、教育関連事業

社会の課題を解決し関係者全員の幸福を追求し続けることをミッションに、インターネットメディア・人材・システムエンジニアリング・M&Aの領域で国や業界をまたいだ問題解決を行なっています。2005年に創業以来、黒字経営を継続し、2023年度は年商1149億を突破しました。各分野のスペシャリストが集うオールインハウスの組織構成と、業界を絞らないポートフォリオ経営で、時代を代表するグローバル企業を目指します。

本リリースに関する報道関係のお問い合わせ
レバレッジズ株式会社 広報部
TEL: 03-5774-2900 MAIL: pr@leverages.jp